

経営比較分析表の各指標解説

—水道・法適用の場合—

				説明	算出方法	
1-	経営の健全性・効率性	①	経常収支比率	総収益で費用をどの程度まかなえているか	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	× 100
		②	累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の状況	$\frac{\text{当年度末処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}$	× 100
		③	流動比率	短期的債務に対する支払能力	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	× 100
		④	企業債残高対給水収益比率	給水収益に対する企業債残高の割合	$\frac{\text{企業債現在高合計}}{\text{給水収益}}$	× 100
		⑤	料金回収率	給水収益で給水に係る経費を賄えているか	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}}$	× 100
		⑥	給水原価	有収水量1m ³ あたりの費用	$\frac{\text{経常費用}-(\text{受託工事費}+\text{材料及び不用品売却原価}+\text{附帯事業費})-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	× 100
		⑦	施設利用率	一日配水能力に対する一日平均配水量の割合	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}}$	× 100
		⑧	有収率	施設の稼働が収益につながっているか	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}}$	× 100
2-	老朽化の状況	①	有形固定資産減価償却率	減価償却がどの程度進んでいるか	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}}$	× 100
		②	管路経年化率	法定耐用年数を越えた管路延長の割合	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{管路延長}}$	× 100
		③	管路更新率	更新した管路延長の割合	$\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}}$	× 100